

大川出版賞

The Okawa Publications Prize

2013年度の大川出版賞は、情報・通信分野に関して技術の発展及び社会的啓発に貢献のあった優れた図書として、次の2冊の図書が受賞しました。

The 2013 Okawa Publications Prize was awarded to the following 2 publications as the outstanding publications which made contributions to the technological development and to promoting public recognition in the field of information and telecommunications.



赤崎 勇 博士
Dr. Isamu Akasaki

受賞理由

青色LED（発光ダイオード）が発明、開発されたことにより、LEDによる光の三原色がそろったことになり、照明や信号機、パソコンやスマートフォンのバックライト等あらゆる面に応用され、今や生活に欠くことのできない技術となっている。本書は1989年、世界で初めて窒化ガリウムのpn接合による青色LEDの実現に成功し、この分野を確立した著者による開発物語ともいえる自叙伝である。

著者の生い立ちにはじまり、その後、前人未踏の「青色LED」の開発をこころざしてから、研究者として幾多の困難に対し、決してあきらめることなく、不屈の信念をもってこれを貫き通し、長年試行錯誤を繰り返しつつ遂にその基礎技術を確立するに至った努力とその過程が、著者の生きざまを語って余すことなく述べられている。LEDの技術的な解説と開発にまつわるエピソードを交えながら、生き生きと描かれ、著者の高潔な人柄と研究に対する真摯な姿勢が浮き彫りにされており、読者を啓発して止まない良書である。

『青い光に魅せられて—青色LED開発物語』

Enchanted Journeys into Blue Light

赤崎 勇 (名城大学 教授・名古屋大学 特別教授 名誉教授) 著 Dr. Isamu Akasaki

日本経済新聞出版社 刊

Nikkei Publishing Inc.



小柳 義夫 博士
Dr. Yoshio Oyanagi

中村 宏 博士
Dr. Hiroshi Nakamura

佐藤 三久 博士
Dr. Mitsuhsa Sato

松岡 聡 博士
Dr. Satoshi Matsuoka

受賞理由

近年、話題となった世界トップクラスの大規模かつ超高速科学技術計算用のスーパーコンピュータ「京」は10ペタフロップス*の処理速度を持ち、演算速度は初期のコンピュータと比べて、約65年間で十兆倍にも増大したといわれている。このようなコンピュータの発展とともに、計算科学はシミュレーションや大規模データ解析等を行い、物理的な実験を代替するものとして発展し、そこには多くの技術が集積されている。

本書はコンピュータの基本的な構造や性能評価に必要な概念や方法をはじめ、演算能力の高速化手法、並列プログラミング、技術の歴史的な進展からエクサスケールスパコン（「京」の約100倍の性能）の時代に向けての課題までを、わかりやすく体系的に解説しており、初学者から実務家、研究者に対し、有用な知見を与えている。スーパーコンピュータの分野で高い実績を持つ4名の研究者たちによって著された時宜を得た力作であり、優れた解説書といえる。

*1フロップスは1秒間に1回の浮動小数演算を実行することを表す。
10ペタフロップスは10の16乗フロップスを意味する。

『岩波講座 計算科学 別巻 スーパーコンピュータ』

Supercomputer

小柳 義夫 (神戸大学 大学院 システム情報学研究科 特命教授) 著 Dr. Yoshio Oyanagi

中村 宏 (東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授) 著 Dr. Hiroshi Nakamura

佐藤 三久 (筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 教授) 著 Dr. Mitsuhsa Sato

松岡 聡 (東京工業大学 学術国際情報センター 教授) 著 Dr. Satoshi Matsuoka

岩波書店 刊

Iwanami Shoten, Publishers

